

総合福祉センター事業評価表 障害者福祉センター事業分

項目	区分 (仕様1、自主	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和3年度の実施状況		令和4年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R3年度	R4年度							
								実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	
社会生活 適応訓練	1	がんばろう会 ◇主に知的障害者対象 ・日常生活訓練 ・家事訓練 ・外出訓練	48	毎週月曜	・自立して生活ができるよう、自主性を尊重。 ・利用者同士の話し合いにより活動内容を決めて実施。 ・レクリエーションを交えながら活動することで、仲間づくりや社会ルールを身に付ける。 ・買物に出掛けたり、簡単に出来るおやつや昼食作りをする事で、生活する力を身につける。 ・屋外活動を体験をする事で、社会ルールを学ぶ。	12	12	33	348	47	465	14	117	(1)閉鎖期間がなかった為、昨年より参加延べ人数と実施回数が増加した。 (2)昨年より始めたハンドベル演奏は、新たに2曲を追加し、練習を重ねた。9月には、老人センターと合同事業で演奏会を実施し、達成感を得る事ができた。また、練習に対する意欲向上に繋げる事もできた。(9/12) (3)外出では、犬山市にある博物館明治村へ社会見学に行き、目的地に向かう為、地図を見ながら散策したり、村内バスを利用して見学をした。楽しみながら社会適応訓練に繋げた。(11/7) (4)12月に、登録者の1人がグループホームへ入所及び就労継続支援B型に移行となり、卒業された。 (5)卒業等により、次年度の登録者が4人となる為、相談事業所や支援学校等へのPRを実施する。
	1	かがやき ◇主に視覚障害者対象 ・日常生活訓練 ・家事訓練 ・外出訓練	24	第2・4水曜	・仲間と一緒に出来る事の楽しさを知る。	12	13	14	85	21	123	7	38	(1)閉鎖期間がなかった事や、1月に1名の方が新規に登録され、昨年より参加延べ人数と実施回数が増加した。 (2)日中の活動では、歩行訓練を兼ねた公園散策や近所のパン屋に行く事が好評であった。 (3)外出では、利用者のニーズに沿った買い物等を実施し、利用者の楽しみを増やす事ができた。 (4)昨年と同様に地域福祉課の男のコーヒー講座を受講したボランティアに来ていただき、淹れ立てのコーヒーを飲む時間が利用者からとても好評であった。(12/14)
	1	ふれあい ◇主に重度心身障害者対象 ・日常生活訓練 ・家事訓練 ・外出訓練 ・音楽療法	48	第1～4木曜 午前	・意欲と能力に応じて生活を送れるよう支援する。 ・自立支援や仲間作りをする。	12	13	34	193	45	250	11	57	(1)閉鎖期間がなかった為、昨年より参加延べ人数と実施回数が増加した。 (2)活動内容は、スポーツレクリエーション・作品作り・ゲーム等を主に実施した。また、それぞれの誕生日会を開き、交流を深めた。 (3)外出では、3年ぶりに社会見学を兼ねて市外へ出かける事ができた。行き先は、山岡のおばあちゃん市・小里川ダムだったが、関係者が案内するダム見学がとても好評であった。(9/29)
	小計		120					81回	626人	113回	838人	32回	212人	
創作活動	1	俳句教室 ・講師の指導により実施	24	第1・3火曜 午前	・自分の気持ちを俳句で表現することにより自分を見つめ直す事を目的とする。	12	13	17	62	21	89	4	27	(1)各々が考えた俳句を講師と一緒に添削・推敲しているが、講師の指導が分かりやすく好評である。 (2)作品応募では、伊藤園が主催する作品コンクールで、2名の方が佳作に選ばれ、多治見市文芸祭で2名の方が入選・奨励賞に選ばれた。(10月2月) (3)コロナの影響により受入れを中止していたボランティアを、講師の助手として1名受入れを再開した。(1月)

項目	区分 (仕様1、自主	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		令和3年度の実施状況		令和4年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
					R3年度	R4年度								
							実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)		
	1	絵手紙 ・講師の指導により実施	12	第4火曜 午後	・自分の作品を作るとともに、他の参加者の作品と比較し交流を深める。	12	12	7	51	11	47	4	△ 4	(1)お互いに、線の描き方・言葉の選び方を教え合いながら活動に取り組む姿勢が見られた。 (2)4名の方が自己都合等により教室を辞められた為、延べ人数が減少した。 (3)作品応募では、御嵩町が主催する絵手紙コンテストで1名の方が受賞し、障害者福祉センターが主催するコンテストでは、4名の方が受賞した。(10月,3月)
	1	切り絵	24	第1・3水曜 午前	・細かい作業をする事で指先のリハビリにつなげる。 ・完成した時の喜びを期待する。	12	13	16	95	23	142	7	47	(1)閉鎖期間がなかった為、昨年より参加延べ人数と実施回数が増加した。 (2)講師がいない為、参加者同士で切り方や色の配色等を相談して活動され、交流の場にもなっている。 (3)作品応募では、岐阜市で開催されたふれあい福祉フェアで1名の方が知事賞を受賞した。この知事賞を受賞した方は、切り絵を始めてまだ1年目で、本人も入賞結果に大変喜んでいた。(9月)
	1	サロン	12	第2火曜 午後	・簡単な おやつ作りや、軽スポーツ・買物等誰でも参加でき、仲間と一緒に楽しむ。	12	12	9	77	12	79	3	2	(1)2名の方が自己都合により教室を辞めた為、実施回数は増えたが延べ人数が大きく増えなかった。 (2)コーヒーや抹茶を飲みながら仲間と交流を深める場を作った。次年度は、喫茶店に出かける事を計画している。 (3)コロナ禍で中止にしていた調理自習（おやつ作り）の再開を望む声が多くあった為、次年度は活動内容を検討し、計画する。
	1	ちぎり絵	12	第4月曜 午後	・誰でも参加でき、簡単な画材から始め、表現力・集中力・根気さと指先のリハビリに繋げる。									R4年度は休講(講師がボランティアであり、受入れを制限したため)
	1	ペン習字 ・講師の指導により実施	24	第1木曜 午後	・講師の指導のもと、文字の成り立ちを正しく学び、綺麗な文字が書けるようにする。	12	12	3	8	21	52	18	44	(1)4月から6名で教室を開始したが、年度途中で3名辞められ、実人数が3名となった。実施回数は増えたが、延べ人数が大きく増える事がなかった。 (2)次年度は、実人数を増やすため、相談支援事業所等に積極的にPRする必要がある。
	1	自主活動日 ・自由来館者含む	24	第1・3金曜 午後	・誰でも自由に来館し、他の利用者と交流をはかりながら、各自の活動に取り組む。	15	12	18	103	24	79	6	△ 24	(1)年度の途中で2名の方が活動を辞めた為、実人数が減り、延べ人数が減少した。 (2)個人で制作テーマを決め、自主的に取り組まれていた。 (3)センターでは集中して作品作りに取り組める、と参加者から好評であった。また、各々の作品に取り組む意欲が向上した。
	小計		132					70回	396人	112回	488人	42回	92人	

項目	区分 (仕様1、自主)	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		令和3年度の実施状況		令和4年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
					R3年度	R4年度								
							実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)		
スポーツ・レクリエーション	1	がんばろう会 ◇主に知的障害者対象 ・スポーツ活動	12	毎週月曜日 (第2月曜 午後を除く)	・健康の維持増進と 身体機能の向上、 社会性や協調性を 養う。	12	12	8	50	9	51	1	1	(1) 風船バレーやバドミントンなど楽しみながら仲間との交流を実施した。 (2) 公園の散歩では、心身機能の向上や心のリフレッシュにも繋がった。また、地域の子供たちや犬の散歩をしていた方と交流する事もできた。また、屋外の活動では、社会性・協調性も身についた。
	1	がんばろう会 ◇主に知的障害者対象 ・リズム体操 ・講師の指導により実施	12	第2月曜 午後	・身体を使って エネルギーを発散する。 ・仲間と同じ目的に 向かって行動する。 ・発表の機会を設けて、 達成感を味わう。	12	12	8	47	12	66	4	19	(1) 講師の指導のもと、音楽に合わせて体を動かした。 (2) 活動内容は、前半は軽いリズム体操を行い、後半はダンスを練習し体を動かした。要望が多くあったダンスが再開できた事が良かった。
	1	サウンドテーブルテニス ◇主に視覚障害者対象	12	第4水曜 午前	・視覚障害者の方にとって 楽しみにしているスポーツであり、仲間と楽しむ。	12	13	5	24	11	43	6	19	(1) マスクを着用して試合をする為、休憩を多く入れながら実施した。 (2) 利用者からは、普段は座っている事が多いので体を動かす良い機会になって楽しい、という意見が多くありとても好評であった。
	1	かがやき ◇主に視覚障害者対象 ・音楽療法 ・講師の指導により実施	12	第4水曜 午後	・音楽を楽しみながら、 嚥下や身体の機能向上を図る。	12	12	6	26	10	40	4	14	(1) 閉鎖期間がなかった為、実施回数は増加したが、自己都合等で休まれる事が多くあり、延べ人数が大きく増加しなかった。 (2) 感染防止を強化する為、時間の短縮及び音楽鑑賞を主として実施した。 (3) 次年度は、各々の得意な楽器を練習し、演奏会を計画している。
	1	3B体操 ・講師の指導により実施	24	第2・4火曜 午前	・楽しく運動機能の 維持を図る。	12	13	16	64	23	115	7	51	(1) 講師の指導のもと、様々な道具を使い体操を実施した。 (2) 道具を使った体操に興味を持つ方が多く、一時は7名の登録者がいたが、就労へ移行・自己都合等により年度途中で辞められ、年度末には登録者が4名となった。
	1	ボッチャ	12	第1金曜 午前	・楽しみながら身体を動かし 運動不足解消と身体機能維持 を図る。また、パラリンピック の種目の普及・促進を図る。	12	12	11	41	14	64	3	23	(1) 障がいの種別関係なく参加する事ができ、参加者は楽しみながら体を動かす事ができた。 (2) 風船バレーの代替としてボッチャを開催する機会が多く、実施回数が増加した。 (3) 今後、ボッチャを通じて他者との交流を深める為、大会への参加も検討している。
	1	風船バレー	12	第3金曜 午前	・楽しみながら身体を 動かし運動不足の 解消と身体機能の 維持を図る。	12	12	6	26	10	41	4	15	(1) 2チームに分かれ、風船バレーで対決をしながら、身体の機能維持、向上につながる運動を行った。 (2) マスクを着用して行う運動は、時間短縮で実施した。 (3) 次年度の教室登録者が3名となってしまう、試合ができる人数が集まっていないので、教室のPR及び事業の活動内容の見直しが必要である。

項目	区分 (仕様1、自主)	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和3年度の実施状況		令和4年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R3年度	R4年度							
								実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	
	1	軽体操 ・機能訓練 ・講師の指導により実施	24	第1・3水曜 午後	・講師の指導のもと専門的に身体機能の維持を図る。	12	12	12	39	23	80	11	41	(1)昨年度より、ラジオ体操指導員の資格を持つ講師の指導により実施。 (2)閉鎖期間がなかった事や、昨年の月回数の変更の影響により実施回数と延べ人数は増加した。昨年と実人数に変化がなかった為、延べ人数が大きく伸びる事がなかった。 (3)日常動作に必要な筋力アップを目的とした体操は、参加者から好評だった。
	1	音楽療法 ・講師の指導により実施	24	第1・3火曜 午後	・精神的安定と嚥下機能の向上を図る。	12	12	15	79	20	81	5	2	(1)自己都合により年度途中で辞めた方が2名あり、その影響により延べ人数が大きく増加しなかった。 (2)大きな声で歌う事を制限し、楽器演奏と音楽鑑賞を主としたプログラムで実施した。 (3)次年度は、コロナ禍で制限していた内容等を見直し、利用者のニーズに沿ったプログラムを講師と相談し進めていく。
	1	ヨガ教室（呼吸） ・講師の指導により実施	24	第2・4金曜 午前	・自分に合った動きと呼吸により、身体機能の維持と精神の安定を図る。（呼吸中心）	12	12	15	108	21	166	6	58	(1)閉鎖期間がなかった為、実施回数と延べ人数が増加した。 (2)講師の指導が良く、心が落ち着き、ゆったりとした体操が好評である。 (3)次年度は、コロナの影響により中止にしていたマットヨガを再開するが、現在の申込みが2名となっており、積極的なPRが必要である。
	1	ヨガ教室（筋力） ・講師の指導により実施	24	第2・4金曜 午後	・自分に合った動きと呼吸により、身体機能の維持と精神の安定を図る。（筋力中心）			15	56	21	74	6	18	
	小計			192					117回	560人	174回	821人	57回	261人
更生相談	1	障がい者にかかる相談全般		随時	・身体状況、生活状況、福祉制度等の相談や介護方法の助言を行う。	14	13	随時	170	随時	42	随時	△ 128	(1)昨年は、閉鎖期間中に対応した電話等の相談を人数に含んだが、今年度は閉鎖期間がなかった為、延べ人数が減少した。 (2)相談内容は、昨年と同様コロナ禍の影響が強く、生活において困っている事の相談や、精神障がいに関する内容が半数あり、その利用者の生活に寄り添った助言をし、支援に繋げた。
	小計			0					-	170人	-	42人	-	-128人
リハビリ指導	1	リハビリ指導	96	毎週水・金曜午前	・身体機能の保持、機能回復を支援する。	12	12	59	158	75	220	16	62	(1)鍼灸マッサージ師による機能回復及び維持を目的とした身体リハビリを毎週水曜日と金曜日に実施した。 (2)鍼灸マッサージ師の職員都合により、2月中旬からリハビリ指導は休止となった。次年度は、すぐに再開できるように努める。
	小計			96					59回	158人	75回	220人	16回	62人
送迎サービス	1	送迎サービス		随時	・通所が困難な方を対象とし、自宅までの送迎を行う。	12	12	随時	1,584	随時	2,172	随時	588	(1)教室の参加者で自力または家族送迎が困難な方に送迎サービスを実施した。 (2)閉鎖期間がなかった為、送迎利用者も増加した。
	小計			0					-	1584人	-	2172人	-	588人

項目	区分 (仕様1、自主)	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和3年度の実施状況		令和4年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R3年度	R4年度							
								実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	
その他	1	障がい者 レクリエーション交流会	1	7月	・誰でも参加できる 軽スポーツ等で 障がい者、 介護者、ボランティアの 交流を図る。	12	13	0	0	1	87	1	87	(1)コロナ禍の影響により、内容をスポーツレクリエーションから鑑賞会等を主とした交流会に変更し、7/3（日）に開催した。 (2) 対象者は、障害者福祉センター登録者（土曜日サロンを含む）、優が丘ホーム利用者、家族等とし、参加人数は演者を含み87人の参加となった。 (3) 内容では、迫力のある演奏と、素晴らしい音色で演奏した土岐ウインド・オーケストラが特に好評であった。
		障がい者社会見学ツアー	1	3月	・日ごろ外出する機会の 少ない障がい者の方に 外出する機会を 提供し、家族、友人、 ボランティアと一日 楽しく過ごす。	12	13	0	0	1	8	1	8	(1) 名古屋港水族館の見学ツアーを計画していたが、コロナ 禍の影響により、内容を多治見市内のウォーキングイベントに 変更し、3/11（土）に実施した。 (2) 春の暖かい季節を肌で感じて歩きながら仲間と交流する 事ができた。
		季節行事	随時	随時	・ 伝統、文化の継承	12	12	4	76	4	154	0	78	(1) 縁日遊び、運動会、花餅作り等、季節的行事を年間を通 じて楽しむ事ができた。 (2) 昨年同様、児童・老人センターの利用者とふれあう交流 を中止とした。次年度は、ふれあう交流を交えた内容を計画す る。
		①福祉体験 ②地域交流事業	①随時 ②1	①随時 ②10月	①福祉体験 ・ 福祉体験、福祉講座を行う 事により、 障がい者への理解 を深めてもらう。 ②地域交流事業 ・ 障害者福祉センターの幅 広い周知	12	12	6	396	4	228	△ 2	△ 168	(1) 小学校で実施する車椅子体験（出前講座）を外部の福祉 用具の業者に依頼する事が増えた為、実施回数及び延べ人数が 減少した。 (2) 児童センターの子供や保護者を対象とした車椅子体験で は、車椅子に乗ったままの状態ですぐに車にリフトで乗降する体験会 を実施した。（3/29） (3) 地域交流事業では、障がい者スポーツのボッチャ体験会 を総合福祉センター内で実施した。子供や高齢者の方が多く、 35名の参加となった。（10/15）
		絵手紙コンテスト	1	3月	・ 文化芸術活動を通して 障がい者の個性と能力の 発揮及び社会参加の促進 を目的とするコンテスト。	13	13	1	31	1	37	0	6	(1) 大人の部で26名、こどもの部で11名の計37名の方から応募 があった。今年度は、放課後デイサービス等の事業所へPRし た事により、こどもの応募が増えた。 (2) 絵手紙コンテストの審査会后、総合福祉センターの1階で 応募者全員の作品展示を実施したが、来館者の多くが足を止め て見学していた。 (3) 次年度は、PRする事業所を検討し、作品の応募者を増や す。
総合評価書 1(運営・利用状況)-(2)(市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内))点数							12.37		平均値を自動計算。※①行を追加した場合は、計算式を調整すること。※②小数点第3位を四捨五入し、総合評価書へ転記。					

		土曜教室（ふれんど）	随時	随時	・障害者の事業所を 利用して いる方などの余暇活動と仲間 作りの機会を提供する。	12	13	0	0	1	18	1	18	(1) 以前は月1回の土曜日に開催していたが、今年度は、レク リエーション交流会の対象者として声をかけ、家族を含め18名 が参加された。 (2) 次年度は、事業の見直しが必要である。
--	--	------------	----	----	--	----	----	---	---	---	----	---	----	--

項目	区分 (仕様1、自主)	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和3年度の実施状況		令和4年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
						R3年度	R4年度								
								実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数 (人)		
その他	2	単発教室	2	随時	・通常のセンター利用者だけではなく、広く市内全体に公募し利用者拡大を図る。	12	15	0	0	2	16	2	16	(1) 昨年度は、コロナ禍の影響により中止したが、今年度は2回実施した。1回に開催した己書教室がとても好評で、2回目も同じ内容を実施した。(6/29、11/29) アンケート調査でも己書教室は人気であった為、次年度は、月1回開催する予定である。	
		障がい者団体意見交換会	1	5月	・各障がい者団体が一同に意見交流をし、事業の参考にする。	12	12	1	6	2	4	1	△ 2	(1) コロナ禍の影響により、各障がい者団体が一同に意見を交換する場は延期とした。 (2) 代表者の変更があった団体には個別で連絡し、今後の情報共有及び繋がりを構築した。	
		交流事業		随時	随時	・複合施設の利点を活かすとともに、社協が運営する他施設との交流を図る。	12	12	3	61	4	67	1	6	(1) 福祉センター以外の部署との交流では、池田保育園とオンラインで交流会を実施した。園児達とゲームをして楽しんだ。(11/17) (2) 次年度は、ふれあう交流等を計画し実施する。
	その他小計(仕様+自主)							15回	570人	20回	619人	5回	49人		
総合評価書 1(運営・利用状況)-(3)(自主事業の企画・運営・実施状況)点数							13								

- 【留意事項】
1. 「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。
2. 新規事業、廃止事業については、実施事業の項目を適宜斜線とする。